

九州における木材の土木利用に関する講習会 2015



九州橋梁・構造工学研究会（KABSE）は、土木学会西部支部と共催で、財団法人福岡県建設技術情報センターの講習会等助成事業の助成により、以下の講習会を開催いたします。

地球温暖化対策として、国内では木材の積極的な利用が求められています。2010年10月には「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」も施行され、建築分野では積極的な取り組みも展開され始めています。土木分野ではそのような取り組みはまだまだ低調ですが社会的背景は同じであり、近い将来その利用拡大が求められることになると考えられます。

本講習会では、これまで全国の木橋、木質構造の設計・施工に携わってこられ、今春宮崎県木材利用技術センターを退職された飯村豊氏によりご講演いただきます。続いて KABSE 地域産木材の構造物・資材への利用法に関する研究分科会の活動報告と九州一円での木材利用の事例紹介を行います。今後のこれらの分野での実務に有益な情報が多く含まれていますので、多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

名 称 九州における木材の土木利用に関する講習会 2015

主 催 (一社)九州橋梁・構造工学研究会

共 催 (公社)土木学会西部支部

後 援 福岡県 (公社)地盤工学会九州支部 (一社)日本木材学会九州支部

(公社)日本木材加工技術協会九州支部 (一社)建設コンサルタンツ協会九州支部

(公社)日本技術士会九州本部 木橋技術協会

日 時 平成 27 年 7 月 10 日 (金) 14:00～17:30

会 場 電気ビル本館地下 2 階 7 号会議室 (福岡市中央区渡辺通 2-1-82)

プログラム

14:00～14:10 開会あいさつ

14:10～14:40 木材利用の動向と研究分科会の活動 分科会主査・渡辺 浩(福岡大学)

14:40～15:40 《特別講演》

かりこぼうず大橋等 木材の土木利用技術 ～木橋・木構造の設計・施工～

飯村 豊氏(前 宮崎県木材利用技術センター所長)

15:50～16:10 地域材活用型クリーク木柵工法について 森竹 巧(中央コンサルタンツ)

16:10～16:30 撤去される荒瀬ダムで使用されていた牛枠工 平田 晃久(熊本県林業研究指導所)

16:30～16:50 地盤改良における木材利用の有意性評価 福岡 仁(朝日テクノ)

16:50～17:20 総合討論

17:20～17:30 閉会あいさつ



参加費 2,000 円

継続教育 土木学会 継続教育(CPD)プログラム (認定番号: JSCE15-0356/3.3 単位)

参加申込 参加者氏名、所属、連絡先を KABSE 事務局までお知らせください。先着 81 名で受け付けます。締め切りは 7 月 3 日です。これ以降も空席があれば参加できます。事務局にお問い合わせください。

問い合わせ先 812-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 6F (株)長大 福岡支社内
九州橋梁・構造工学研究会事務局 Tel/Fax 092-737-8570

参考情報は → <http://tbl.tec.fukuoka-u.ac.jp/kabse-wood/>